

第76回岩手県高等学校総合体育大会 バドミントン競技1部監督会議資料

令和6年5月23日

次 第

- | | | |
|------------|------------------|---------|
| 1 開会のことば | 高体連バドミントン専門部委員長 | 渡 邊 清 一 |
| 2 あいさつ | 高体連バドミントン専門部部长 | 佐 藤 文 子 |
| 3 競技審判上の注意 | 競技審判部長 | 柳 原 賢 |
| 4 その他 | | |
| 5 閉会のことば | 高体連バドミントン専門部副委員長 | 平 賀 隆 之 |

◎競技審判上の注意

○全般的事項

- この大会は、大会実施要項及び令和6年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、公認審判員規程により行います。
- サービスジャッジは原則つけません。
- 試合は原則試合番号を優先して行いますので放送に注意してください。
- 敗者審判制を採用します。（別紙「敗者審判の流れ」参照）
- 学校対抗、個人対抗の準決勝、決勝は岩手県バドミントン協会審判員が行います。
- 試合が連続する場合は、学校対抗は**20**分間、個人対抗は**15**分間のインターバルを確保します。
- 試合は21点3ゲームマッチ（延長30点まで）で行います。11点になった時、60秒を超えないインターバルを認めます。また第1、第2ゲーム間、第2、第3ゲーム間に120秒を超えないインターバルを認めます。（選手は20秒前にはコートに入ってください）
- インターバル中のアドバイスは、監督・コーチなど2人までです。主審の「○コート20秒」で、コートから離れてください。なお、コーチングシートを設けます。
- チェンジエンズを必要とするインターバルの際、アドバイスはチェンジエンズ後とします。（チェンジエンズとともにコーチングシートもチェンジしてください。）
- 10 試合（マッチ）中の水分補給・汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。氷のうの使用はインターバル中のみ認めます。主審横に各自のバッグを持参し、タオル、飲み物、氷のうを収容してください。
※ベンチへのクーラーボックスの持ち込みはできません。
- 11 シャトルの交換は主審の承認を必要とします。
- 12 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
- 13 次のような行為は違反行為ですので、注意してください。（競技規則第16条）
 - 息切れなど体力回復等の遅延に関わる行為、又はアドバイスを受けるためにプレーを遅らせる行為。
 - 主審の許可なしにコートを離れること。
 - 故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
 - 審判員や観客に対しての横柄な振る舞い、下品で無礼な態度、言動。
 - 見苦しい服装でプレーをする。
 - ラケットや身体でネットなどのコート施設を叩いたり、耳障りなかけ声や奇声を発するなどの不品行な振る舞い。
- 14 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。色つきの着衣を使用する場合及びシューズは、（公財）日本バドミントン協会の審査合格品とします。
- 15 上衣の背面中央に必ず高等学校名及び県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとし、（上段：学校名、下段：県名）ゼッケンを使用する場合は4隅を止めてください。
ゼッケンを使用する場合は、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。
- 16 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスがなされる前に「質問」することができます。質問できる者とは、

学校対抗では監督と当該選手、個人対抗では当該選手に限ります。

- 17 コール後3分以内に、試合時の服装でコートに入るようにしてください。
- 18 モバイル機器（タブレット端末・携帯電話等）使用による試合中のアドバイス・コーチングを禁止します。
- 19 監督、コーチはIDカードを着用し、指導者としてふさわしい服装でお願いします。（別紙「コーチ席に座る人の服装」参照）
試合終了後にはIDカードを忘れずにボックスに返却してください。

○ 学校対抗に関する事項

- 1 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は、この監督会議をもって最終とします。ただし、感染症等に関連する監督の交代が生じた場合については別途審議します。
- 2 1日目全試合のオーダー交換を12：30、2日目女子2回戦のオーダー交換を8：20に、男子2回戦のオーダー交換を8：45に、それ以降は放送の指示によりオーダー交換所で行います。3日目学校対抗決勝のオーダー交換を8：30に行います。
- 3 試合進行により2コート、3コート並行になる場合もあります。
そのとき、ダブルスの選手が単2単3に出場する場合のインターバルは10分間とします。
- 4 学校対抗は2複3単で複1-複2-単1-単2-単3の順で実施し、勝敗決定（3マッチ先取）後、打ち切りとします。単1の選手は複・単2・単3に出場できません。
- 5 ベンチに入ることができるのは、当該試合にエントリーされている者のみです。
（監督1、コーチ1、マネージャー1、選手5～7名）
※監督はあいさつ時に選手と同様に整列願います。（オーダー確認のため）
※主審から見て左側が組合せ番号の先番チームのベンチとします。

○ 個人対抗に関する事項

- 1 選手の変更は認めません。
- 2 コーチ席に入ることができるのは、今大会にエントリーした当該校の監督、コーチ、当該校選手（出場選手以外でも可）とします。チェンジエングの際には、コーチ席も移動してください。
- 3 IDカードを追加で申請する場合は、監督が本部にある申請用紙に記入してください。（県登録済の者であること）

◎ 一般的注意

- 1 体育館の開館時間は大会2日目から最終日まで8時です。
- 2 フロア（競技場）内での飲食は厳禁です。ただし、競技審判上の注意の全般的事項10のみ認めます。
- 3 ゴミは各校、各自責任をもって持ち帰り、貴重品の管理は各チームで責任をもって行ってください。
- 4 各学校の弁当の受け渡し及び回収は、各チームと弁当業者で連絡をとってください。
弁当到着の放送はいたしません。
- 5 観客席の最前列は、応援席として空けてください。
- 6 「土足禁止」、「観客席の座面をシューズで歩かない」など、施設利用のマナーを守ってください。
- 7 別紙「大会に関する留意事項」を遵守してください。